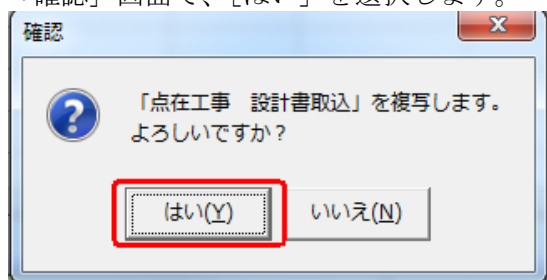


積算 (点在工事の紐付け)	施工個所が点在する工事（設計書取り込み） 間接費の紐付け手順
	<p>直接工事費ごとに経費がある設計書での施工個所が点在する工事の紐付け手順をご説明します。</p> <p>念のため、操作の前に設計書の複写をしてください。</p>

「設計書一覧」画面で複写したい工事を右クリックし、メニューの「複写」を選択します。

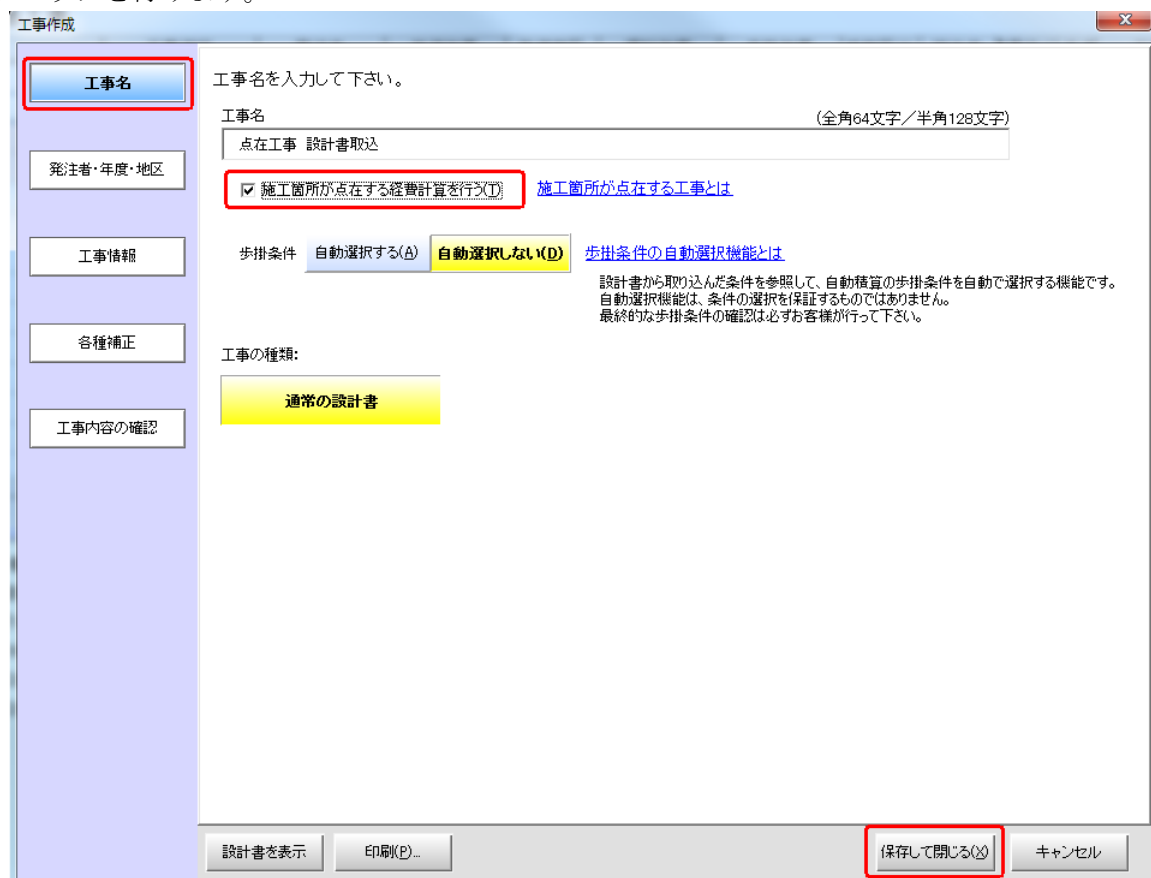
「確認」画面で、「はい」を選択します。



1. 点在工事の設定確認

(施工個所が点在する工事を以下「点在工事」と呼ぶ。)

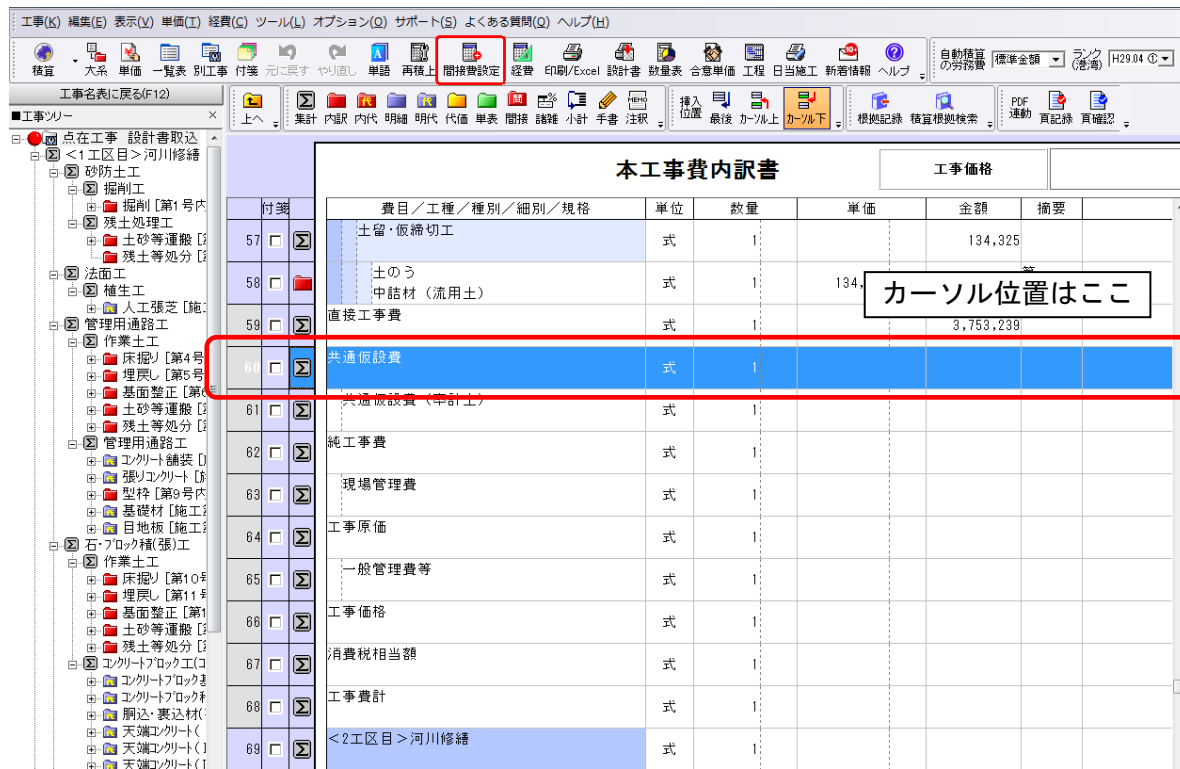
点在工事は、「工事作成」画面で、「施工箇所が点在する経費計算を行う」にチェックを付けます。



2. 1工区目の紐付け

本工事費内訳書で上から順番に紐付けを行います。

1工区目の間接費の行を選択した状態で、 をクリックします。

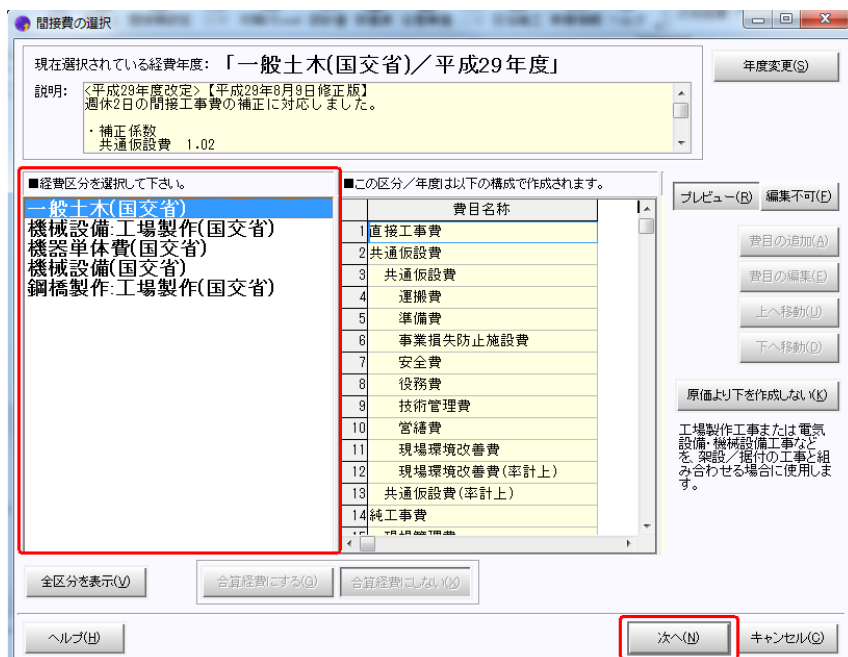


本工事費内訳書

付箋	費目/工程/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額	摘要
57	土留・仮締切工	式	1		134,325	
58	土のう 中詰材(流用土)	式	1	134		
59	直接工事費	式	1		3,753,239	
60	共通仮設費	式	1			
61	共通仮設費(率計上)	式	1			
62	純工事費	式	1			
63	現場管理費	式	1			
64	工事原価	式	1			
65	一般管理費等	式	1			
66	工事価格	式	1			
67	消費税相当額	式	1			
68	工事費計	式	1			
69	<2工区目>河川修繕	式	1			

3. 経費区分の選択

「間接費の選択」画面が表示されます。該当の経費区分を選択し、画面右下の「次へ」をクリックします。



現在選択されている経費年度: 「一般土木(国交省)/平成29年度」

説明: <平成29年度改定>【平成29年8月9日修正版】
週休2日の間接工事費の補正に対応しました。
・補正係数 共通仮設費 1.02

■経費区分を選択して下さい

- 一般土木(国交省)
- 機械設備:工場製作(国交省)
- 機器単体費(国交省)
- 機械設備(国交省)
- 鋼橋製作:工場製作(国交省)

■この区分/年度は以下の構成で作成されます。

費目名称
1 直接工事費
2 共通仮設費
3 共通仮設費
4 運搬費
5 準備費
6 事業損失防止施設費
7 安全費
8 役務費
9 技術管理費
10 管轄費
11 現場環境改善費
12 現場環境改善費(率計上)
13 共通仮設費(率計上)
14 純工事費

次へ

4. 紐付け画面

「間接費紐付け」画面が表示されます。
画面左側に取り込んだ設計書の間接費項目が表示されます。

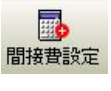
画面右側に Gaia の間接費項目が表示されます（赤色の行が、紐付けが必要な行です）。
赤色の行が存在しない場合：紐付け設定の変更が不要な場合は、そのまま [実行] をクリックします。

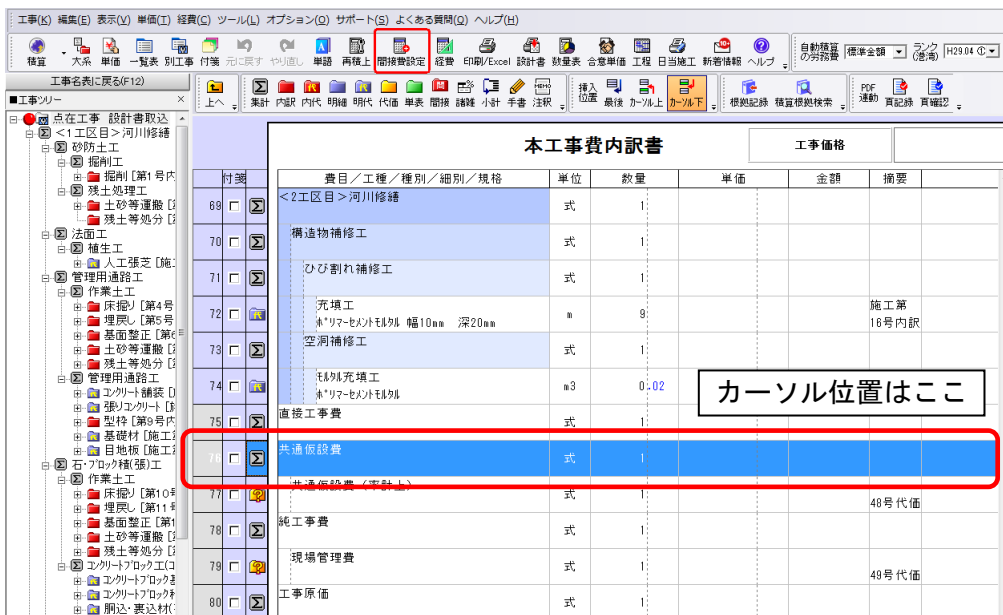
赤色の行が存在する場合：紐付け設定を行ってください。

「間接費紐付け」画面の左下[マニュアル]ボタンを押すと、画像付きの手順書が表示されます。
P3-8～P3-11 をご参照ください。

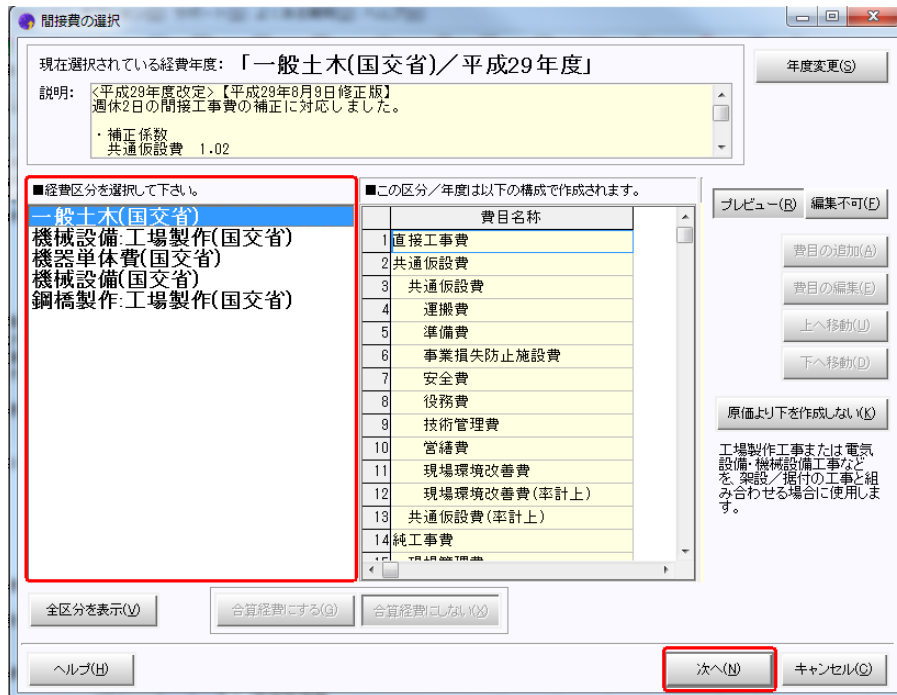


5. 2工区目の紐付け

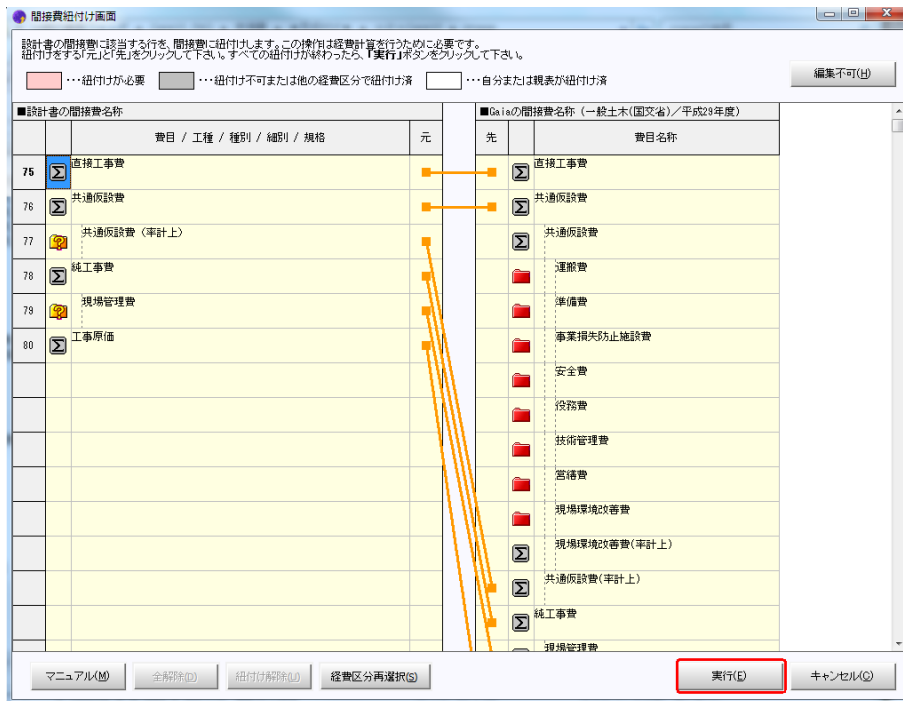
2工区目の間接費の行を選択した状態で、 を選択します。



「間接費の選択」画面が表示されます。
 該当の経費区分を選択し、画面右下の「次へ」をクリックします。



「間接費の紐付け画面」が表示されます。
 紐付けを確認し、右下の「実行」をクリックします。

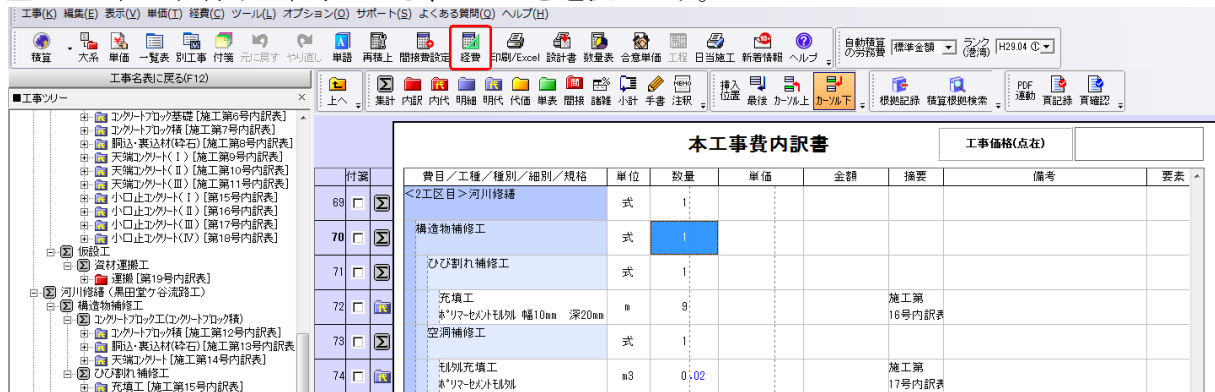


※3 工区目以降もある場合は、手順 5.と同じ操作を繰り返します。

6. 経費計算

経費計算を行います。

全ての工区の紐付けが終了したら、 **経費** を選択します。



「再積上げの処理選択」画面が表示されましたら、設定を確認し、[OK] を選択します。

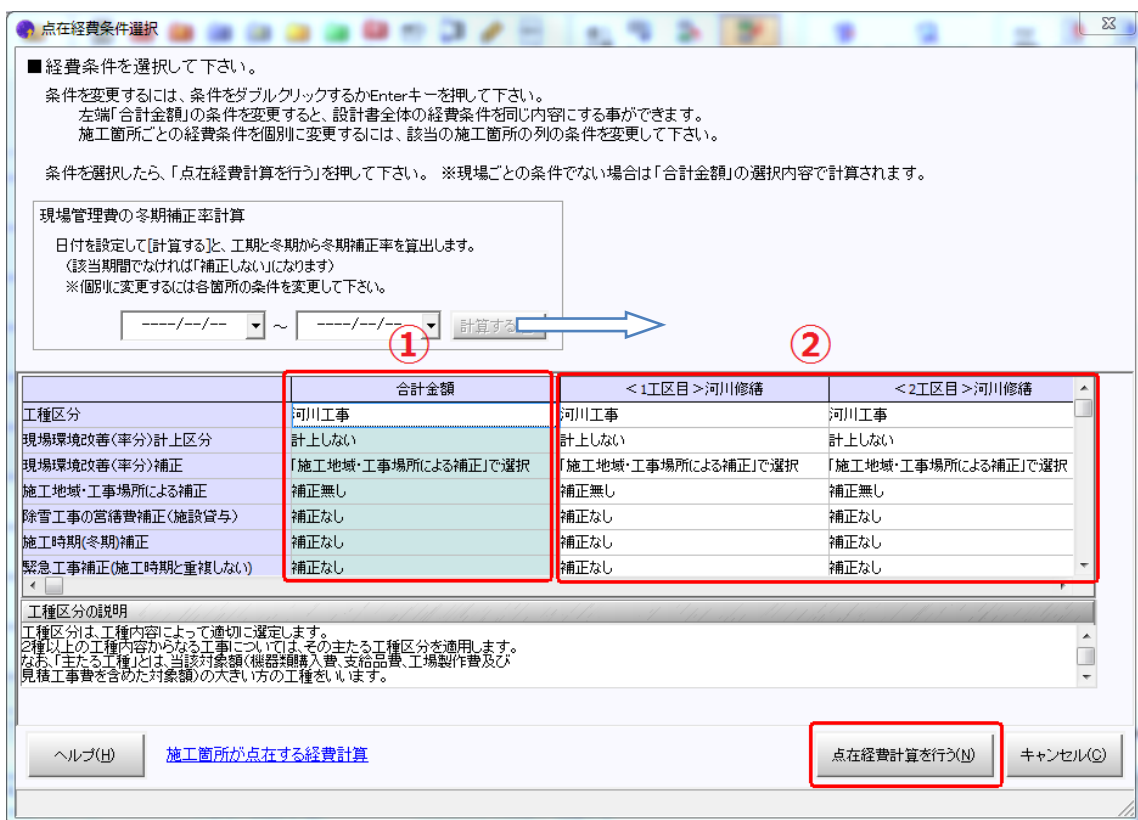
●経費条件選択の順番

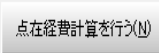
①の「合計金額」の条件を設計書の「主たる工事」の条件を元に変更します。

各点在箇所条件②も連動して変わります。

その後、②で施工箇所ごとに異なる条件があれば変更をします。

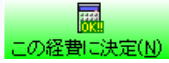
※必ず① → ② の順番で設定を行ってください。



条件選択後、 **点在経費計算を行う(N)** を選択します。

①の「合計金額」欄の条件は、点在工事の一般管理費について、「全地区を一本の工事として計算」する際の、経費の条件となります。必ず設定して下さい。

条件選択後、「経費一覧」画面が表示されます。

 をクリックすると、計算結果が反映されます。

経費一覧： 点在工事 設計書取込

経費計算の新規作成(A) 経費計算の削除(D) 経費計算名称の変更(E) 経費計算結果の比較(H) ヘルプ(P) 閉じる(Q)

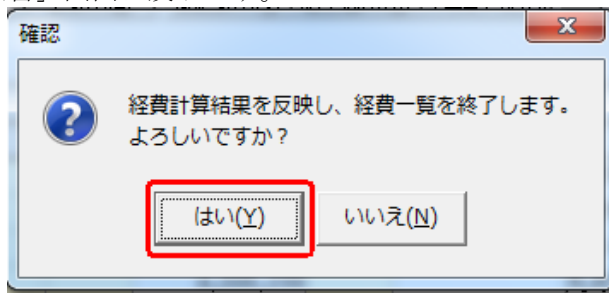
経費区分名: 一般土木(国交省)/年度名: 平成29年度

この経費に決定(N) 再計算(S) 条件選択(J) Excel(X) 簡易表示(K) 詳細表示(D) 全表示(Z) 根拠表示(Y) 施工箇所(W) マニュアル(M) 表示

この経費に決定を申しつけて反映して下さい。 工事価格: 7,090,000円

No	間接費費目	合計金額			<1工区目>河川修繕		<2工区目>河川修繕		
		率	金額	丸め	率	金額	率	金額	丸め
1	直接工事費		3,753,239			3,753,239			丸めしない
2	共通仮設費		456,000			456,000			丸めしない
3	共通仮設費(率計上)		456,000		12.53%	456,000	12.53%		1000円丸め 切り
4	純工事費		4,209,239			4,209,239			丸めしない
5	現場管理費		1,721,000		42.02%	1,721,000	42.02%		1000円丸め 切り
6	工事原価		5,930,239			5,930,239			丸めしない
7	一般管理費等	20.02%	1,159,761	1円丸め 切り捨て	20.02%	1,159,761	20.02%		1円丸め 切り捨て
8	工事価格		7,090,000	丸めしない		7,090,000			丸めしない
9	消費税相当額	8%	567,200	1円丸め 切り捨て	8%	567,200	8%		1円丸め 切り捨て
10	工事費計		7,657,200	丸めしない		7,657,200			丸めしない

「確認」画面が表示されましたら、「はい」を選択します。
「本工事内訳書」画面に戻ります。



本工事費内訳書の各工事にそれぞれ計算結果が反映されます。
点在工事の紐付けの手順は以上です。

工事(K) 編集(E) 表示(V) 単価(I) 経費(C) ツール(L) オプション(O) サポート(S) よくある質問(Q) ヘルプ(H)

種直 大系 単価 一覧表 別工事 付業 対応戻す やり直し 単語 再修正 間接費設定 経費 印刷/Excel 設計書 数量表 合意単価 工程 日当施工 新着情報 ヘルプ

自動集算の労務員 標準金額 ランク H29.04 (密海)

集計 内訳 内代 明細 明代 内価 単表 間接 諸積 小計 手書 注釈

挿入 位置 最後 カル上 カル下 履歴記録 履歴提供検索 PDF 送付 頁記録 頁確認

工事名ツール

- コンクリート下の基礎【施工第6号内訳表】
- コンクリートブロック【施工第7号内訳表】
- 鋼筋・裏込材(砕石)【施工第9号内訳表】
- 天端コンクリート(I)【施工第9号内訳表】
- 天端コンクリート(II)【施工第10号内訳表】
- 天端コンクリート(III)【施工第11号内訳表】
- 小口止コンクリート(I)【施工第15号内訳表】
- 小口止コンクリート(II)【施工第16号内訳表】
- 小口止コンクリート(III)【施工第17号内訳表】
- 小口止コンクリート(IV)【施工第18号内訳表】
- 仮設工
- 資材運搬工
- 運搬【第19号内訳表】
- 河川修繕(黒田堂ヶ谷流路工)
- 構造物補修工
- コンクリートブロック【施工第12号内訳表】
- 鋼筋・裏込材(砕石)【施工第13号内訳表】
- 天端コンクリート【施工第14号内訳表】
- ひび割れ補修工
- 充填工【施工第15号内訳表】
- 撤去工
- 構造物取壊し工
- コンクリート構造物取壊し【第20号内訳表】
- 仮設工
- 土管・仮橋切工

本工事費内訳書

工事価格(点社) 7,090,000

付業	費目/工程/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考	要素
1	<1工区目>河川修繕	式	1		3,543,494			
2	砂防土工	式	1		590,440			
3	掘削工	m3	70		71,750			
4	掘削土砂	式	1	71,750	71,750		第1号内訳表	
5	残土処理工	式	1		506,690			
6	土砂等運搬	式	1	319,690	319,690		第2号内訳表	
7	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式	1	189,000	189,000		第3号内訳表	
8	法面工	式	1		35,402			